

うた ひつじの詩だより

2010. 1. 1
毎月発行 No.106
この裏にはおまけの品と
いっしょにお届けします

あけまして おめでとうございます。
本年も よろしく お願い申し上げます。

昨年、暮れも押し迫ったある日、忙中閑あり、3人のバーチャ（くれぐれも「ん」を入れないでくださいませ！）が語り合いました。平和のためにまだ何もしていないオバマになぜ平和賞を？という質問に、選考者の1人が言い放った言葉「ことばを侮ってはいけません」。バーチャ①は、その言葉にいたく感じ入ったのです。オバマさんの平和への言葉によって、動かされ、勇気を与えられた人々の力を信じた選考者の言葉に対する見識にです。また、考えの限りをつくし、及ばないことは天に預け、それを勇気を持って発されたオバマさんの言葉にも。

「うーん、はじめに言葉ありき、ですものね」やさしいバーチャ②がつぶやきます。平和を目指す佳き言葉を発した勇気の人、真の偉人になるのは、ずーっとその後の筈です。リンカーンのように。「だから、私たちひとりひとりが動かなければいけないのよ」と正義派バーチャ③もおそばをすすりながら、言いました。新聞漫画の「ひなちゃん」に毎日会うのが楽しみな脳天気バーチャ④は「そうそう、ひなちゃんのようにね」と秘かに思いました。

その新聞（sankei express）に「ホンダ」の本田宗一郎の名言が載っていました。

「一人でない偉人、みんなして大勢の偉人、もっとひろげるなら日本人としての大きな偉人を私はつくりたい」一何だか勇気に満ちてくる言葉ですね。そして「技術そのものより、思想が大切だ。思想を具現化するための手段として技術があり、また、よき技術のないところからは、よき思想も生まれません」一ウォルドルフ人形を伝える私たちにとっても、びんびんと響いてきます。

先人の偉大さを想います。

2010年が美しい平和な年でありますように。

スウェーデンひつじの詩舎 佐々木奈々子

佐々木奈々子のワークショップ 「ウォルドルフ人形と羊毛の手仕事 ～イースターエッグのお人形」

羊毛で作るイースターエッグのベッドの中に小さな赤ちゃんが入ります。2月25日(木)と3月11日(木)の13～15時、朝日カルチャーセンター新宿にて。講習費7560円（材料代約2500円別）です。お申し込みは朝日カルチャーセンター新宿までお願いいたします。（TEL：03-3344-5450）



「ウォルドルフ人形の四季」 ー2009、スウェーデン大使館作品展よりー

2月2日(火)～8日(月) ころぼっくるの家 滋賀県大津市観音寺5-3

TEL：077-522-9849

このあと2月に予定されていたカルテット、つみきやでの展示は、当社の都合により中止となりました。楽しみにして下さっていた方、本当に申し訳ありませんでした。

通信講座「ペレの学校」

昨年のクリスマスの前に、何か美しいものに出会いたくて、街を歩きました。目に留まるものは、わら細工、トランスバレント、ペイントした木の馬や鳥、ウールのボールなどなど、どれも家にその材料があるものばかりで、自分で自分にあきらめました。なあんだ、心惹かれるものはみんなもってた。さ、早くうちに帰って作ろう！と思いました。

スウェーデンひつじの詩舎のひとつの柱である、通信講座「ペレの学校」第6期のタイトルは、「羊毛の手仕事、てのひらの宇宙」です。届いた案内書には、こんな言葉が書かれています。「宇宙にある私たち、私たちの中にある宇宙、その中のこんな小さいてのひらにも信じられないほどの力が与えられ、備わっていることを、確認してみたいと思いませんか。’時間にゆとりのない方にも楽しんでいただけるように小さくても広がりを持って内容で、皆さんの“手”による創意が生きる方向を探っていきたくて考えています。’ハートをぎゅっと掴まれた私はすぐに申し込みを済ませました。開講が楽しみでなりません。



前回のペレの学校も、刺激的な手仕事が盛りだくさんでした。出来立てほやほやのアルバムをめくると、材料が届いたときのわくわく感や、上質な素材に触れる喜び、日々の暮らしの中で思うように製作時間をとれないもどかしさ、いろいろな思いがページからこぼれてきます。こんなにたくさんの人が手仕事に思いを寄せてつながっているなんて、心強い限りです。そして、お便りを読むと、手仕事する大人の向こうにくっきりと手仕事に心動かされる子供たちの姿がみえて、それはまさに私たちの目指すところと大いに励まされます。私たちがせっせと手を動かすことで、世界がほんの少し美しくなっていく。そうだったらしいなと思います。

佐藤治子
〈写真：小6の宮崎佳奈ちゃんがカーディングして紡ぎ、織機を作り、織った作品（右）。寺田裕子さんのフェルト絵「おひさま、ありがとう」（左）



通信講座（ペレの学校第6期）の受講案内をご希望の方は、ご住所、お名前、お電話番号を明記の上、以下のあて先までメールかFAXでご連絡ください。受講の申し込み（ゆうちょ銀行での振り込み、12000円、00200-6-59917 スウェーデンひつじの詩舎）の締め切りは1月20日です。

ペレの学校教務室：FAX 045-811-6708、メール pelle_skolan@r6.dion.ne.jp

旧年中はたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。スウェーデンひつじの詩舎は1月5日(火)から営業いたします。スペース「ペレのあたらしいふく」は、7日(木)10時からです。本年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



もうどなたからも、あのカーディガンどうなりましたか？とはきかれなくなった今になって、ようやく出来上がりました。「貧乏な芸術家って風情だな」と長男。「ちょっと色が多すぎじゃないか？」と次男。・・・とにかく、雪道で妻にチェーンを装着してもらった夫に、ささげます。

編集担当 佐藤治子

♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥

スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

相談窓口（金）担当：寺田裕子 045-881-7035

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>